

2006年10月31日

各 位

会社名：旭化成株式会社

代表者名：代表取締役社長

蛭 田 史 郎

(コード番号：3407 東証第1部)

子会社の統合について

当社グループでは、当社の100%子会社である旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤原健嗣 以下、ケミカルズ）と旭化成ライフ＆リビング株式会社（本社：東京都千代田区、社長：亀井啓次 以下、L&L）を、2007年4月1日付で統合し、一体運営する組織に再編することを決定いたしましたのでお知らせします。

これにより、当社グループでは、生活消費材事業・ポリマー加工事業の更なる強化・拡大を図り、お客様により高品質・高機能で、快適な暮らしに一層の貢献ができる製品群を提供し続けてまいります。

1. 統合の目的

当社グループでは、2003年10月の「分社・持株会社制」の導入に伴い、ケミカルズを有機・無機工業薬品、合成樹脂・合成ゴム、高機能化学品等のケミカル事業会社として、またL&Lを生活消費材、食品用・産業用フィルム等の生活製品関連事業会社として、発足させました。

「分社・持株会社制」移行後3年が経過し、本年4月より新たに事業の高度化・高付加価値化を戦略の一つとする中期経営計画「Growth Action-2010」をスタートさせました。この計画を着実に実行し、当社グループの生活消費材事業およびポリマー加工事業分野の更なる拡大を加速するためには、両社の持つ多様な経営資源を融合させ、最大限にシナジーを発揮させることが効果的であると判断し、統合することを決定いたしました。

2. 統合の内容

(1) 生活消費材ビジネスの拡充

生活消費材事業を担う会社として、統合後のケミカルズが100%出資する「旭化成ホームプロダクト株式会社」を新設し、L&Lの生活消費材開発機能とサランラップ販売株式会社のマーケティング・販売機能を移管し、独立した権限と責任を持った運営を行っていきます。ケミカルズが持つ素材、加工技術、化学技術とL&Lが持つ生活消費材の新商品開発・マーケティング機能を融合させるとともに、両社が持つ経営資源を戦略的に投入して、生活消費材の更なる拡販と事業の強化・拡大を目指します。

(2) ポリマー加工事業の強化・拡大

L&Lのフィルム・シート・フォーム事業とケミカルズのフィルム・シート事業を統合・再編し、高機能で高付加価値なフィルム・シート・フォームの新規用途分野への展開・拡大を図り、より戦略的なポリマー加工事業運営を推進していきます。なお、L&Lの関連会社である旭化成パックス株式会社とサンディック株式会社は、本統合・再編後の事業組織の関連会社として更なる発展を目指します。

(3) 鈴鹿地区の生産拠点・研究開発拠点としての活用

今後成長が期待される高機能フィルム・シート・フォーム等のポリマー加工分野を統合し、三重県の鈴鹿工場・サランラップ工場をこの分野での生産拠点・研究開発拠点として強化を進め、世界に誇れる高機能フィルム・シート・フォーム事業の基地として活用していきます。

(4) PVDC（ポリ塩化ビニリデン）の一貫生産体制の確立

統合により、PVDCの基礎原料から製品までの一貫生産体制を構築し、PVDC全事業の世界的成長戦略を展開してまいります。

3. 統合の方法

ケミカルズを存続会社とする吸収合併方式とします。

4. 統合予定日

2007年4月1日

5. 今後の見通し

当社グループの連結業績や連結総資産への影響はありません。

6. 統合する子会社の概要

(1) 旭化成ケミカルズ株式会社（2006年9月末現在）

①事業内容：有機・無機工業薬品、合成樹脂、合成ゴム、高度化成肥料、塗料原料、ラテックス類、医薬・食品用添加剤、火薬類、感光性樹脂・製版システム、分離膜・交換膜等を用いたシステム・装置などの製造、加工及び販売

②本店所在地：東京都千代田区有楽町1-1-2

③代表者：代表取締役社長 藤原健嗣

④設立年月：2003年10月1日

⑤資本金：30億円

⑥総資産：474,382百万円

⑦従業員数：5,860人

⑧連結売上高：6,604億円（2006年3月期決算）

(2) 旭化成ライフ&リビング株式会社（2006年9月末現在）

①事業内容：「サランラップ™」、「ジップロック™」、各種フィルム・シート・フォームなどの製造、加工及び販売

②本店所在地：東京都千代田区有楽町1-1-2

③代表者：代表取締役社長 亀井啓次

④設立年月：2003年10月1日

⑤資本金：30億円

⑥総資産：40,498百万円

⑦従業員数：1,135人

⑧連結売上高：519億円（2006年3月期決算）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社 広報室

TEL 03-3507-2060